

VSUはGLOBAL。

VSUは、
コンパクトで高効率な
液化酸素・窒素製造装置。
「VSU ネットワーク」
を構築すれば、
グローバル時代の地域経済に
新しい価値が生まれます。

GLOCAL は
Global と Local の合成語
グローバル時代の地域の個性を
GLOCAL と言う



VSU

検索

国内外で成長分野支える 産業ガス

ガス容器管理タグの普及推進

移動履歴把握し効率化

産業ガスの供給と貯蔵で最も汎用的なのが、液化ガスを充填工場でシリンドラーと呼ばれるガスボンベ容器に充填して利用する方法。今、この容器一つひとつにRFIDタグ（ICタグ）を取り付けて、産業ガス業界統一の管理徹底を実現するプロジェクトが急がれている。

この取り組みを進めるのは日本産業・医療ガス協会。ICタグには容器個別の識別情報のほか、高圧ガス保安法に基づく管理情報、物流管理のための移動履歴情報などが書き込める。ガス容器の使用期限や耐圧期限が徹底管理できるうえ、容器の移動履歴の迅速な把握による効率化、放置容器による事故撲滅など多くのメリットが期待できる」（日本産業・医療ガス協会担当者）というのが狙いだ。

全国でガス容器の流通量は1500万本にものぼる。従来はガス容器のバーコード管理が進んできたが、導入した各社が独自に進めたことから標準化されておらずシステ

△間の互換性が乏しい。複数メーカーの製品を取り扱う現場では複雑になってしまい利用しにくい場合もあるという。

会ではこうした課題の解決のため業界あげての取り組みとし、ICタグの管理者に必要な世界共通のナンバーを取得。全体を一つのナンバーで管理することで、ICタグ導入企業の初期コスト低減につなげる仕組みとした。会員企業の現場でタグを確実に読み取れるかなどの実証試験を経て、全国では関係各社に説明会を実施。現在は実運用段階へと進めている。



ガス容器の情報を瞬時に読み取れる

2015年度までに310万個目標

「2015年度までに310万個の装着を目標」（同）とする同プロジェクト。5月末時点では59拠点、26万本の容器に装着が済んだ。ただ今後はメーカーからガス販売業者まで全国規模で広げていくことが課題となる。会員企業からは「今年度中に導入し、一つのシステムで運用できるようにしたい」といった声が上がっている。一方、「コスト負担してメリットがどの程度あるのか分からない」「などの現場からの質問もあるという。日本産業・医療ガス協会ではこうした声に応えるため導入先行事例や成功例などをまとめた資料を近く作成する予定。丁寧な説明を加えて、普及のスピードアップを図る方針だ。